



News Letter ちば

2019年9月27日 第13巻1号 発行元 日本臨床発達心理士会千葉支部

目次

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 巻頭言 1 | 4. 東総地区地域研修会報告 5 |
| 2. 2019年度第2回研修会のお知らせ . 2 | 5. 東上地区地域研修会のお知らせ . . . 6 |
| 3. 2019年度第1回研修会報告 4 | 6. 事務局だより 7 |

巻頭言

千葉県立千葉聾学校 小高 裕子

本校の通級指導教室概要

今年度第2回の千葉支部資格更新講習は、「高等学校における通級による指導について」のタイトルで、通級指導についての講習です。私も現在、千葉聾学校の支援部通級指導教室を担当していますので、本校の概要を紹介したいと思います。

現在、県内の特別支援学校の通級指導も充実してきており、聴覚障害児童生徒を通級対象とする特別支援学校は、本校と県立船橋特別支援学校、大網白里特別支援学校の3校あり、今後も広がっていくことと思います。本校の通級指導教室の指導対象は、難聴特別支援学級や難聴通級指導教室の設置がない近隣市町の小・中学生です。本校と3校のサテライト教室で指導を行っており、今年度は37名が、週1回程度通ってきています。指導内容は、主に自立活動を中心とした内容で、言葉の学習、発音・発語の学習、聴覚障害や他の障害についての知識を深める学習や、教科の周辺学習などです。その中で、自分と向き合い自己肯定感を高めることを目標として指導・支援を行っています。そのためには、教室での指導だけではなく、担当者が通級生の在籍する通常の学校に出向いて、授業の様子や友達関係等を参観したり、担任やコーディネーター、管理職の先生方と情報交換を行ったり、通級生のクラスや学年の児童生徒に対して難聴理解授業を行ったりしています。これらの支援で、通級生の周囲の人々に聴覚障害についての正しい知識を知っていただき、理解をもって接していただけるように環境調整を行っています。

通級生が高校生になって聴覚障害に対する支援を必要としなくてもよいように、小・中学生のうちに必要な力をつけたいと考えていますが、中にはまだまだ支援を受けた方がよい生徒もいます。その子たちは、本校の教育相談を受けることもできますが、高校の通級指導教室での指導・支援があれば安心です。高校の通級指導教室の設置が徐々に進んでいます。ニーズのある生徒に適切な指導・支援が受けられるように願っています。

2019年度 第2回千葉支部研修会

2019年11月17日(日)

- 【時間】 ① 午前の部 9時30分～12時30分 9時より受付
② 午後の部 1時30分～4時30分 1時より受付

【会場】 千葉大学西千葉キャンパス(教育学部 1号館1階大会議室)
JR西千葉駅より徒歩8分 京成みどり台駅より徒歩7分
学内への車の乗り入れはできません。必ず正門よりお入りください。

午前の部

9:30～12:30

講演「高等学校における『通級による指導』について」

講師 清水 範子先生(千葉市立稲毛高等学校)

《概要》

2016年の学校教育法施行規則の一部改正により、2018年4月から高等学校においても「通級による指導」ができることとなりました。「通級による指導」とは大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部、特別な指導を特別な場(通級指導教室)で受けるもので、小中学校ではすでに行われています。千葉県高等学校でも2018年度から実施されています。

本研修会は、千葉市立稲毛高等学校で「通級による指導」を担当されている清水範子先生をお招きし、高等学校における「通級による指導」の概要、現状と今後、具体的な支援の事例などについてお話しいたします。

本研修会をとおして、高等学校における特別な支援の現状と今後について、参加者の皆さまとともに考える機会としたいと思います。

午後の部

1:30～4:30

講演「課題を抱える妊婦・母親たちの理解と妊娠期からの継続的支援の必要性
—10代の母親の研究調査から—」

講師 上田 美香先生(東洋大学ほか、社会福祉士・保育士)

《概要》

子どもの虐待、ひとり親の低年齢化の増加にともない 10 代の母親の妊娠～子育ての問題が顕在化しています。上田先生らの研究グループは、2008 年より 10 代の母親に対する妊娠期から子育て期まで継続した調査に取り組み、子の父や原家族の支援力の弱さ、母親の自己肯定感の低さ、厳しい周囲の批判的価値による地域からの孤立等の実態を把握しています。また、母親たちが求める支援を丁寧に聴きとりながら、支援を受けるための言語化や、グループ支援の方法について当事者の母親たちと一緒に考えてこられました。

本研修では、課題を抱える妊婦や母親たちの理解と、妊娠期からの継続的な支援についての、講師の先生の実践的な研究成果をうかがいながら、虐待を未然に防ぐ予防的な援助のあり方について考えていきたいと思えます。

○参加方法

- 有資格者向け研修会で定員 120 名。他支部からの参加も歓迎です。
- 事前申し込みが必要です。

○参加費 午前・午後各 1,000 円。当日、受付で集金します。

○研修ポイント 午前・午後各 1 ポイント

申し込み受付方法

① 千葉支部会員－2019 年 9 月 1 日より受付開始

② 他支部会員－2019 年 10 月 1 日より受付開始

氏名、支部名、登録番号と、午前のみ、午後のみ、午前午後、を明記の上
メール jacdpchiba@yahoo.co.jp（臨床発達心理士会千葉支部）で送信
参加の可否について返信します。なお、定員になり次第締め切りといたします。

★2019 年度の会費が未納の場合は、資格更新ポイントは取得できません

- ☞ 会費の納入状況について念のため事前にご確認ください。
- ☞ 確認は会員情報管理システム SOLTI にて行えます。

★注意事項

- ☞ 当日の受付は ID カードによりオンラインで行います。ID カードを必ず持参してください。
- ☞ 研修会の直前に会費を納入された場合は、その情報が SOLTI にまだ反映されていないことがありますので、納入したことが確認できる振込の明細控え等を当日持参してください。

2019年度 第1回 資格更新研修会報告

■日時* 2019年5月12日(日) 9:30~12:30 ■会場 千葉大学西千葉キャンパス

講演 児童虐待の対応・支援と受けた子どもへの援助について

講師 増沢 高先生(子どもの虹情報研修センター・研修部長)

児童虐待への対応と子どもへの支援

身体的・ネグレクト・性的・心理的の4つに定義されている虐待、過去5年間の統計では、心理的、身体的、ネグレクト、性的の順に増加し、面前DVが増加傾向にある。2004年大阪岸和田の事件以降、虐待統計が開始されているが年々増加傾向にある。2016年の第14次報告において、心中以外の虐待死の中で主たる加害者が母親であることが60%、そのうち半数近くが妊婦健診未受診、予期しない妊娠などの特定妊婦の増加が特徴的であった。

児童相談所における虐待相談の対応のうち施設入所の割合は3.4%。95%は市区町村の対応になるものの、自治体には専門職がおらず、ここに課題が大きい。茨城県高萩市市長は児童養護施設で育った経歴を持っているが、児童養護施設の種別や現状について、理解している政治家は少なく、具体的な政策に繋がりにくい現状である。

英国では虐待をDAと表記。マルトリートメント(不適切な対応)、そこに貧困や孤立といった複合的な要因がリスクとして逆境状態が作られる。ステップファミリーは虐待リスクが高いと言える。特に「親の三毒(toxic trio)」アルコール依存、薬物・うつ病、精神疾患・DV目撃については初期の段階で支援が必要である。

虐待を抱えている親子関係に共通するのは支配性の病理と服従・訓化という親子関係である。ただ、そこには文化の課題も潜んでおり、日本においてもパワハラは眠っている。

子どものマルトリートメントは心理学的には自尊心が育たず、自己評価が低くなり、発達に影響をもたらす。成長後には疾病、社会経済的不利、犯罪に関連する主要なリスク要因となり、低学歴、低賃金、犯罪の可能性が高くなる。子どもはマルトリートメントの状況に置かれることにより生物学的レベルにおいても、免疫不全などの影響を起し、身体的健康、精神保健、行動の課題に至るためである。マルトリートメントの心理的発達への影響は、課題を乗り越え、次の課題を乗り越えていく力が不完全な点である。不安不快→愛着行動→愛着対象、安全な基地→探索行動を繰り返すことがアタッチメント理論であるが、五感が開かれる安心と安全、愛着があるので探索行動がとれることが重要であり、虐待においてはその流れが崩れている状態。心的外傷体験の影響は面談の中ではわからない。生活の中で行動観察することが必須である。その症状はフラッシュバック、回避のため記憶が抜け落ちたり、過覚醒として過剰な警戒心をみせるなどの症状はPTSDやトラウマとして発達のゆがみ、人格の深部に影響を及ぼしているためである。転居が多いなどの要因も影響するが、大切なものを失う喪失経験については、何らかの保障因子があることも回復に重要である。

子どもの回復と育ちに向けての支援は、まず安心できる生活環境の構築により、二次障害の防止にある。その上で治療、教育的アプローチにより体験を積み重ねていく。子ども自身に力がある、家族との心の絆があると世代間連鎖を断つ要素となるが、家族以外の信頼できる人に出会い支えられることであり、保育園や学校の役割とも言える。

(居森梨枝子)



地域研修会報告—東総地域研修会—

■日時* 2019年7月6日(日) 15:00~18:30

■会場* 匝瑳市市民ふれあいセンター

演題「基礎感覚を育てる発達支援」

講師 木村 順 氏 (作業療法士・療育塾「ドリームタイム」代表)

「からだの使い方がぎこちない」、「力の加減ができない」、「トラブルが多い」、「こだわりが強い」、「順番が待てない」など気になる子どもたち。そのような子どもたちを理解する一つの視点が「基礎感覚」の発達のみならず、基礎感覚は子どもに関わる親や支援者が自分の体で実感するのが困難なものなので、その問題の所在が見えにくく解決できないまま育ってきていることが多いと言われます。

今年度の研修会では、発達障害をはじめとした『生きにくさ』『理解されなさ』感を持つ子どもたちに私達はどうか向き合い、支援していったらよいかを、「基礎感覚を育てる」という視点から考えることができました。

講師の木村先生からは、45ページ42時間分の講演資料を提供いただきました。講演の内容は、単なる知識やノウハウの伝達ではなく、まずは子どもと向き合う専門家としての在り方を私達に問うものでした。先生の熱い問いかけの答えを探しながら、子どもをどう理解してどう向き合っていたらよいかを真剣に考え、あっという間の3時間が過ぎていきました。



【研修会の様子…その子の特性を理解して…】

千葉支部の東総地域研修としては、13回目の研修でした。会員43名(うち他支部6名)、地域の学校の先生(特別支援学校教諭・小学校特別支援教育担当者《非会員》)34名、総勢77名の参加でした。

以上 報告いたします。

(大槻美智子)

地域研修会のお知らせ—東上総地域研修会—

■日時＊2020年2月22日（土） 午後1：30～4：30 1：10より受付

※例年11月下旬～12月初旬に実施していましたが、今年度は2月に開催します。

■会場＊東金市ふれあいセンター2階視聴覚室

東金市田間3-9-1※JR東金線東金駅 駐車場あります

講演「マルトリートメントと愛着障害の理解～児童相談所の対応から学ぶ」

講師 渡邊 直氏

千葉県市川児童相談所所長

【参加対象】会員のみ ※資料準備の都合上、2月15日まで事前参加申し込みをお願いします。

【参加費】1000円 ※資格更新ポイント：1ポイント

【申込先】渡邊亮一 電話：090-4662-5262

メール：wtnb9814@outlook.jp またはショートメール

※会場等不明な点はお問い合わせください。

《企画趣旨》

子ども支援の現場では、虐待とまでは言えないものの、不適切な養育（child maltreatment）の状況にあると思われる事例にも遭遇します。虐待か虐待でないか、あるいは虐待のリスクが「高い」、「低い」という二極化によってその狭間にいる子どもたちが愛着形成上の課題を抱えている現状もあるのではないのでしょうか。また、対人的社会的適応やコミュニケーションに課題のある子どもたちの中には、愛着上の課題が問題の背景要因であるにもかかわらず、他の問題と捉えられ、適切な支援や介入がなされていない事例もあるとも言われています。

本研修会では、児童相談所から講師を招聘し、児童相談所の取り組みをお話しいただく中で、「不適切な養育（maltreatment）」によって愛着形成上の課題のある子どもたちをどう支援していくのかということについて学びたいと考えます。



○2019 年度第 2 回資格更新研修会の参加申込が始まっています。—————

11 月 17 日に行われる 2019 年度第 2 回資格更新研修会の申込が千葉支部会員の方は 9 月 1 日より始まっています。10 月 1 日からは他支部の方の申込を受け付けます。

本研修会は午前・午後の開催となり、定員 120 名になり次第締め切らせていただきます。参加を希望される方は、必ず、本ニューズレターや千葉支部ウェブサイトにてご確認の上早めの申込をお願いいたします。

○会費の未納にご注意ください。—————

繰り返しお知らせとなりますが、研修会の時点で 2019 年度の会費が未納の場合には、当日のオンライン受付時にそのことが表示され、遠方から研修会に参加していただいたにもかかわらずポイントの付与がされないということをお伝えしなくてはならない事態となってしまう。

不確かな場合は、参加申込の際に 2019 年度会費の納入が済んでいるかをご自身で確認していただきますようお願いいたします。確認は SOLTI にてすることができます。

また、会費が納入されたあと本部で入力をして、SOLTI に反映されるには 1 週間程度時間がかかります。研修会の直前に会費を納入された場合、SOLTI にまだ反映されていないため研修会当日の受付では確認ができないことになってしまいます。

研修会の直前に会費を納入された場合は、研修会の受付で納入を確認できるもの(振込の明細控え等)をご提示くださいますようお願いいたします。

編集後記

台風 15 号の影響により、甚大な被害に遭われた方々、また現在も不自由な生活を強いられていらっしゃる方々が多いと思います。

我が家は、屋根瓦やトタンの崩壊、断水、停電が 4 日も続きました。ガソリンを入れるのに道路は渋滞、高速道路の利用や、電車の利用にも不便さがありました。健康な方でもこの残暑厳しい中での生活は厳しいものがあるかと思われ、まさにストレスを感じながらの生活でした。しかし、今後の対策に繋げる手立てや参考になったと感じました。

皆様、お身体ご自愛ください。(S&M)